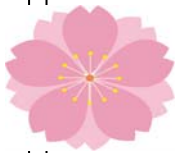


よろっさ やろっさ つなごっさ！春 まち ぽかぽか プロジェクト



かわらばん！その⑥

プログラム4 町会と福祉の関係とは！

～他のところの「うなづける お宝ばなし」聞いてみんけ！？～

2月20日（日）10時～12時

能美市ふれあいプラザにおいて

約110名の参加のもと開催されました。

※大勢の方々にご参加頂き、会場設定に関して、
不都合がございましたことをお詫びいたします。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|------|
| | | | | | | 2/12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |

内容 プログラム4は、2部構成で、

第1部は、活発な活動事例として、町(内)会としての福祉の取り組みや地域福祉委員会活動、いきいきサロン活動などを3町(内)会から紹介してもらい、それを受けて、コーディネーターとしてお招きした金城大学 内 准教授とパネルディスカッションを行い、活動事例を考察しました。

第2部は、第1部を受けて自分たち町に照らし合わせて、参加者各自が感じたことを話し合い、その上で、今後の町(内)会や地域福祉委員会の活動に向けての思いなどを自由に話し合うグループワークを行い、会場は熱気と今後に向けてのヤル気で盛り上がりしました。

まとめ

プログラムの中で挙げられたキーワードは、町(内)会活動に福祉の視点を入れるには、①「個々の家庭(暮らし)を見て、気に掛けること」、②「気軽に集え、話し合える場(公民館)」、③「活動のリーダー(町会長・役員)、キーマン(福祉に理解・熱い思いのある方)、支援者(実践者)」が大切であるということでした。

3町(内)会の活動事例紹介は勿論、お互いに町のことを時間を忘れる位に熱く話し合ったグループワークこそが「お宝ばなし」になり、自分たちの町に持ち帰って頂けたのではないかと思います。そして、今回のような肩肘張らずに話し合う機会を「自分たちの町」でつくり、「自分たちの町」を思う気持ちを育てていくことが大切だと、参加したみんなが分かり合えたようなプログラムとなりました。

参加者の感想

- * 3町の活動事例がそれぞれ特徴あって、グループワークもいろいろ聞けて、我が町に採り入れられる点が、いくつかあり、今後に向けて心強く感じたプログラムでした。
- * 町内の全ての活動が福祉に関わっているので、町民個々の家庭を見ること、リーダーやキーマンが大切である。
- * 町(内)会と公民館が一体となって、福祉活動を行っている事例が印象的で、素晴らしいと思いました。
- * 公民館の開放日をつくることや、いきいきサロンに男性の参加者をいかに増やしていくかなど、話し合えて良かった。
- * 町全体が一つになり、いろいろな行事や福祉活動に取り組んでいければと思いました。



盛り上がった！グループワーク！！



聞き入る！活動事例紹介！！

